

2023年 3月 26日

主 日 礼 拝

司 会 ②石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱 ②白川 達男兄

賛 美 聖歌481番 ～Once Again～

平和の祈り

聖書朗読 ヨシュア記14章10～14節

特別賛美 砂川由紀姉（バイオリン）

メッセージ 「取るべき地はなお多く残っている」

石井 潤 牧師

献 金 聖歌541番 ～イエスイエス聖なる主～

祝 禱

お知らせ 〔司会者〕

賛 美 賛美 「平和初めて知った」

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

★本日も礼拝の恵みを感謝致します。今週も主の守りをお祈り致します！

☆今週の祈り会：○早天祈祷会、明朝6時。 ◎木曜祈祷会：①午前10時半
(大和祈祷会ライブ映像)。 ②夜7時半。 ○準備祈祷会：土曜夜8時。

★来週は受難週礼拝(誕生祝福式/聖書の学び会)。(司会：石井兄/祈祷：村山姉)

☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [3/26-4/2]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
旧約	ヨシュア 15-17	18-20	21-22	23-24				
新約					マルコ 1-3	4-5	6-7	8-9
チェック	〇〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

「取るべき地はなお多く残っている」

～カレブの信仰から学ぶ～

「御覧ください。主は約束してくださったとおり、私を生かしてくださいました。主がこのことをモーセに約束された時から45年がたち、その間、イスラエルは荒れ野を歩きました。今日、私は85歳になりました。今日もなお、モーセが私を遣わした日のように健やかです。戦いのためであれ、日常の務めであれ、今の私の力は当時と同じです。ですから今、主があの日約束してくださったこの山地をください。あの日、あなたも聞いたはずです。そこにはアナク人がおり、城壁に囲まれた大きな町が幾つもありますが、主が私と共にいてくださるなら、主が約束してくださったとおり、私が彼らを追い払います。」

ヨシュア記14章10-12節〔協会訳〕

カレブのことはいつも信仰に満ちています。ヨシュア記では、イスラエルのレビ族を除いた全部族に対して割当地を与えました。日本の戦国時代を見ると、全部隊で敵の首領を倒したら、その首領が持っていた地をみんなで切り取って割当地を与えるという方法でしたが、このヨシュア記では、最初にくじ引きのような方法で、地図を見ながら、それぞれの部族の人数に従って、土地を分けて割り当て、それぞれでその地を得るようにと励まして送り出します。大国は全部隊で、すでに打ち倒したので、これからはそれぞれで占領していくようにしたのかもしれません。彼らはただ空になったその地を与えられたのではなく、自分たちの力でその土地を勝ち取って行かなければならなかった状況でもありました。しかし、主は「既に与えた！」とおっしゃっています。見た目には戦いはありますし、実際に戦いは起ります。しかし、主は「すでにその地を与えた」とおっしゃっているのだから、「私たちは必ず勝ち取ることができます！」とカレブは信仰の目を見て、宣言したのでしょう。それは、以前にあのモーセがスパイとして送った時と同じ反応でした。カレブはいつも信仰の目をもってその言葉を語り続けたのです。

私たちもかくありたいと思わされました。どうしても現実を見たら、自分たちには将来も希望もないと感じてしまうかもしれません。しかし、主が共におられるのですから、私たちには希望しか見えないのではないのでしょうか！「わたしが共にいる。それで十分ではないか！」とおっしゃる方がおられるのです。ですから、大丈夫なのです！

先週の信徒懇談会では、良い時間を持てたと思います。この教会は皆さんの教会です。決して牧師の教会でも、執事会の方々の教会でもありません。そして、何よりも、主の教会です。キリストの教会です。私たちは主にこの身を捧げた存在です。なぜなら、主がまず私たちためにご自身を捧げられたからです。何のために生きるのか？それは私たちのために死んでよみがえった方のために生きることが私たちの最高の幸せなのです(2コリント5章15節)。信仰の目をもって信仰の言葉を語り続けていきましょう！